

### (2-5-2) 沿岸域の地震活動の把握

## 1. 詳細な震源分布から地震発生層深度を推定 2. 海域活断層のすべり方向の推定



# 震源断層モデル構築へ貢献

防災科学技術研究所 松原 誠



- 東北地方と近畿・北陸地方の速度構造
  モデルの改良
- 2004年以前に既存の観測網で観測され
  た北海道・中国地方における自然地震の地震波到達時刻の読取作業



- 2004年以前に既存の観測網で観測された 自然地震の地震波到達時刻の読取作業
  - ◆2004年以前に防災科研Hi-netシステム では読み取っていない大学などの観測点 における地震波データの読取作業



## ◆中国地方→実施中



過去の地震の震源破壊域・余震域・温度
 構造の比較





過去の地震の震源破壊域・余震域・温度
 構造の比較



### 2004年10月中越地震



22km (SW) &17km (NE) / 7km (SW) & 20 km (NE)

2. Seismicity w.r.t. D95 (hypocenter/aftershocks) Above/Above 3. Main slip w.r.t. D95 Above 4. Velocity structure along D95 (Vp/Vs & Vp)1.7 - 1.8 & 6.5 - 6.8 km/s



### 2007年7月中越沖地震

#### D95

138

37



- 1. D90/D250-450deg 25-30 km/ 7-15 km
- 2. Seismicity w.r.t. D90(hypocenter/aftershocks)

### Above/Above

### 3. Main slip w.r.t. D90 Above

4. Velocity structure along D90 (Vp/Vs & Vp) **1.75 – 1.8 & 6.7 – 6.8 km/s** 





## 2007年3月能登半島地震







138°

38°

37°

36

138°

### 2016年10月鳥取地震



## 2016年4月熊本地震







В

D300deg

- 1. D95 and D250-450deg 15(SW)•10(NE) km / 30(SW)•10(NE) km
- 2. Seismicity w.r.t. D95 (hypocenter/aftershocks) **Above/Above**3. Main slip w.r.t. D95 **Above**4. Velocity structure along D95

(Vp/Vs & Vp)



1.6 – 1.75 & 6.0 – 6.3 km/s

まとめ

- 2004年以前に既存の観測網で観測された 北海道地方における自然地震の地震波到達
   時刻の読取作業は終了、中国地方を実施中
- 再決定震源カタログ・DDカタログを用い て地震発牛深度の下限と地震時断層破壊 域・余震域・温度構造を比較 ◆ 熊本地震を除いて、断層破壊域・余震域は概 ね地震発生層の下限を越えない。 ◆ 熊本地震は余震域がD95を越えて広がる ◆ 温度構造から、brittle-ductile遷移領域まで余 震が広がって発生していると考えられる。